

令和5年度 第2回狛江市基本計画推進委員会 会議録

- 1 日 時 令和5年7月21日（金）午後6時58分～午後8時57分
- 2 場 所 狛江市役所 特別会議室
- 3 出席者 委員長 福島 康仁 副委員長 上田 英司
委 員 村上 裕章 委 員 河内 広樹
委 員 佐藤 慶 委 員 佐藤 淳哉
委 員 名古屋 信夫 委 員 水谷 成江
委 員 高橋 良典
事務局 富田政策室長 中村企画調整担当主査
宇野企画調整担当主任
- 4 欠席者 なし
- 5 議 事 1 狛江市基本計画推進委員会の行政評価について
2 SDGsについて
3 評価対象施策A「地域コミュニティ・都市間交流の推進」について
4 その他

6 会議概要

- 1 狛江市基本計画推進委員会の行政評価について
—事務局から説明—
- 2 SDGsについて
—事務局から説明—
- 3 評価対象施策A「地域コミュニティ・都市間交流の推進」について
—事務局から説明—

【委員長】

事務局の説明に対する御意見等あるか。

【委員】

資料3の3頁の「3 指標」の方向性について、説明をお願いしたい。

【事務局】

目標値として上昇させる指標については、上矢印、減少させる指標については、下矢印として表記している。

【委員長】

私の手持ち資料だと全ての指標が上矢印となっている。

【委員長】

本日、机上配付した資料は事前送付した資料に修正を加えているので、本日配付した資料にて確認していただきたい。

【委員】

備考欄の記載が不明瞭だと感じる。対外的に公表するのであれば、分かりやすく表記すべきでは。

【事務局】

備考欄の記載に表記誤りがあるので、公表の際には修正して公表する。

【委員長】

公表前に資料の訂正をお願いする。

【委員】

「満足度と期待値」の分布図について、満足度が高く期待値が低くなっている。この状況について、課題があるのか説明をお願いしたい。

【事務局】

市民アンケートの回答に基づき満足度と期待値を順位付けした指標である。回答者のうちどれくらいの方が地域コミュニティ等に参加しているかまでは把握できていない。

【委員】

期待値の順位が低いので、施策の方向性として期待値を伸ばすのか、満足度をより高めていくのか、施策としてどちらを伸ばしていく方向性なのかを分かるようにするとよい。

【事務局】

まずは、期待値を伸ばしてしく方向性で考えている。町会・自治会の加入率が約40%で横ばいであり、新しく住民となった方の町会・自治会への加入が少ない。新しく住民となった方は、町会・自治会に期待していないから加入していないのではないかと考えられるため、期待値を伸ばしていき町会・自治会への加入率を上昇させたいと考えている。

【委員】

町会・自治会未整備地区の面積割合が過去5年間横ばいであるが、事務局の説明では、新しく町会が設立されたとあった。そうであれば、町会・自治会未整備地区の面積割合が減るのではないか。

【事務局】

東和泉3・4丁目区域における町会の設立は、令和5年4月9日であるため、令和4年度末の指標には反映されていない。

【委員長】

地域コミュニティ活動の活性化とあるが、資料を見る限りだと地縁団体のことを指していると思われる。地域コミュニティは、今、テーマ型コミュニティや電子型コミュニティ等があるが、そこは対象にしていないのか。

【事務局】

町会・自治会などの地縁団体だけでなく、市民活動を行う団体も対象している。

【委員長】

NPO等のコミュニティとの連携などの記述があると良い。NPO等に助成金は交付していないのか。

【事務局】

市民活動団体に交付している補助金はある。

【委員長】

資料3の2施策に係る取組内容において「市民課窓口において転入者へ町会・自治会加入促進チラシを配布するとともに、不動産業者等と協定を結び、住宅販売及び賃貸住宅の管理・仲介時を行う場合にチラシを配布している。」とあるが、施策としてももう少し強調しても良いのではないか。また、成果欄の「チラシを配布することで、町会自治会への加入促進に寄与している。」は成果指標ではなく、活動指標だと思われるので、別途成果指標を記載した方がよい。

【副委員長】

町会・自治会加入率が指標で示されているが、狛江市単独の数字だと比較対象がないので、約40%が高いのか低いかわからない。可能なら多摩エリアでの加入率を調べていただきたい。また、加入率が下がってきているので、総括にその旨記述があっても良いのでは。

【委員長】

町会・自治会加入率約40%は、26市中で何位と分かるのか。

【事務局】

担当課に確認する。

【委員】

町会・自治会の加入率は、どのように算出しているのか。また、町会・自治会未整備地区の面積割合は、どのように算出しているのか。

【事務局】

担当課に確認する。

【委員】

町会・自治会加入率は減少しているが、全国的に町会・自治会加入率は減少しているため、狛江市の減少幅が小さいのであれば、取組の効果が一定程度はありと確認できるので、他自治体との比較があったほうがよい。

【委員】

施策に係る取組の事業費について、各課の予算に占める取組の事業費の割合は分かるのか。

【事務局】

そこまで詳細な資料は作成していない。市の予算全体に対しての割合であれば示すことはできると思うが、市の予算の一般財源全体でみると施策に係る取組の事業費は微々たるものである。

【委員】

行政の予算はほとんどが義務的経費であり、政策的経費の割合は少ない。一般財源の中でいかに効果を出していくのかが重要である。費用に対する効果を評価するのは難しく満足度などの感覚をどう定量化できるかが施策評価として重要になってくる。

【委員】

総括の欄の「コミュニティ活動活性化助成金の交付を通して、町会・自治会におけるコミュニティ活動活性化を図る事業や町会設立準備会の活動等を支援したことから、投入したコストに見合った成果が上がっていると考え。」とあるが、この文章だけだと本当に成果が上がったかは分からない。附属資料の中に助成金の一覧があるが、この中に各町会・自治会が実施した事業の記載があるので、事業に関わった人数等の記載があると成果として評価しやすいと思う。

【委員長】

コミュニティ活動活性化助成金は、事業を実施してから申請するものなのか。

【事務局】

各町会・自治会は、事業実施前に助成金の交付申請を行わない助成金の交付を受ける。事業実施後に実績報告を行い、実績報告に基づきする助成金の精算をする。実績報告の中に事業内容があり、参加者の人数などはある程度把握できるかと思う。一定程度の参加者がいるのであれば、助成金の費用対効果があったと捉えることができるかと思う。

【委員長】

評価の第一段階として、活動している町会・自治会から助成金の申請が多く出ているということは、評価できるのでは。

【副委員長】

他自治体だと市民活動支援センターの予算にイベント実施等のソフト事業に関する予算措置をしているところは少ないが、狛江市の市民活動支援センターは、ソフト事業にも予算措置をし、イベントや講座の実施など施策の中でも位置付けがあることは非常に評価できる。狛江市の市民活動支援センターは地域の企業と社会貢献プログラムを実施しているので、こういった取組の記述があるとよい。

【委員長】

こまえくぼ 1234 は、中間支援団体なのか。

【事務局】

こまえくぼ 1234 は、指定管理として狛江市社会福祉協議会へ委託している。市民活動を行っている団体へのサポートやこれから市民活動を行いたい市民のマッチング等を行っている。

【副委員長】

狛江市の特徴として、運営委員会が指定管理業務の中で設置となっており、市民活動支援センターの運営委員会は都内の市民活動支援センターの全てに設置となっているものではなく、こまえくぼ 1234 の設立当初から運営委員会が設置されているところは、評価できる。こまえくぼ 1234 は、運営委員会が主体となってイベント等を実施している。こまえくぼ 1234 は、市民が運営の主体となっており、その点は、狛江市の特徴であり評価できる点である。また、視覚障がいの当事者団体の方も運営委員になっており、障がいの当事者が運営委員会に入っているところは、都内でも少ない。

【委員長】

私もこまえくぼ 1234 フェスティバルに運営側として参加したが、参加者から非常に好評であった。市域が狭いからこそできることかもしれないが、こまえくぼ 1234 には、個人個人の活動を上手く吸い上げる仕組みがあり、それがこまえくぼ 1234 フェスティバルの開催につながった。こまえくぼ 1234 には、市内に点在している活動したい市民をつなぐ仕組みがあり、ソフト事業に対する予算措置があるなど市からも応援されていると感じる。市民活動に対して市は、上手くサポートしていると思う。

【事務局】

こまえくぼ 1234 の課題の一つとして、知名度が低いことである。こまえくぼ 1234 を市民に知っていただく切っ掛けづくりとして、こまえくぼ 1234 フェスティバルを開催した。こまえくぼ 1234 フェスティバルは、多くの来場者があり、こまえくぼ 1234 を知っていただく切っ掛けづくりとしては効果があったと考えている。

【委員長】

こまえくぼ 1234 を評価する表現と知らない人に対する発信についても課題がある旨の記載があってもよいのでは。

【委員】

市民活動支援センターの支援の内容を数値化することはできないのか。

【事務局】

市民活動支援センターの支援の内容の評価については、市民協働の部分となり別の施策であるので、今回の評価対象施策とならない。

【委員】

指標の欄に目標値が入っていないが、目標値の記載があった方が分かりやすのではな

いか。

【事務局】

目標値があるものについては、追記する。

【委員】

市民活動と地域コミュニティ活動の違いについて、確認したい。

【事務局】

地域コミュニティ活動は、住民自らが地域の課題解決のために、自ら活動し住みよい地域環境を創造する活動であり、主に町会・自治会などの地縁による団体の活動である。それに加えて、市民活動は、防災や福祉、子育てなどの様々な分野でつながりのある活動を行うものである。

【副委員長】

市民活動支援センターは、大きく分けて2つの種類があり、市民活動団体の運営をサポートする市民活動支援センターとボランティア相談やボランティアのマッチング等の人に対する支援を行う市民活動支援センターがある。今回の評価対象施策の地域コミュニティは後者の人に対する支援であるので、こまえくぼ1234の認知度を上げる、利用者を増やす等の項目が評価の対象になると思う。

【委員】

こまえくぼ1234は聞いたことはあるが、詳細な活動内容については、今回の委員会で初めて知った。こまえくぼ1234フェスティバルの参加者が3,000人と多いので、今回のイベントでこまえくぼ1234の認知度が上がったように思う。市民活動団体やボランティアの参加人数も分かると成果の評価がしやすいと思う。

【委員長】

こまえくぼ1234フェスティバルの参加者の人数が1回目と2回目で大きな差があるが、その理由について確認したい。

【事務局】

1回目は、こまえくぼ1234の施設の中だけで実施したが、2回目はこまえくぼ1234に加えて、駅前ひろばも会場としたので、2回目の参加者が増えたものと考えている。

【委員長】

参加団体も2回目は増えたのか。

【事務局】

2回目は駅前ひろばを会場に加えたことから参加団体も増えている。

【委員長】

こまえくぼ1234フェスティバルの総括「まちづくりの視点:経営的な視点」の表現が不適當であると思われるので、表現を改めた方がよい。

【委員】

こまえくぼ1234フェスティバルの目的として、ボランティアや市民活動に関心を持つ

人材の掘り起こし等と記載があるが、こまえくぼ 1234 フェスティバルの参加者が市民活動につながったかについて、モニタリングできる指標や情報はあるのか。

【事務局】

今年度から個人向けの講座も実施しているので、講座の参加者や個人の相談件数等を捉えられれば、モニタリングできるかと思うが、今後の課題である。

【委員】

こまえくぼ 1234 に登録している団体の規模が経年で大きくなったが分かればよいのでは。

【事務局】

団体登録はしているが、団体の構成人数までは、随時把握していないので、難しいと思う。

【委員】

こまえくぼ 1234 フェスティバルの参加者にボランティアの意欲が湧いたかどうかのアンケートを行うのも良いのでは。

【委員長】

アンケートができれば成果指標として有効である。今後、ICT等で簡単にアンケートができるようになると思うので、実施した方が良いのでは。

【委員】

こまえくぼ 1234 フェスティバルの目的は、フェスティバルの参加者が最終的には地域活動の担い手になるということを目的としているということによいのか。

【事務局】

お見込みのとおりである。

【委員】

参加者から担い手に変わるポイントが分かれば、そこにフォーカスした施策が展開できるのでは。

【委員】

町会・自治会の加入世帯の内訳は、分かるのか。加入世帯の内訳が分かれば、どこの層にアプローチすれば効果的な施策になるのか分かるのでは。

若い世帯だと電話で問合せをすることに抵抗があるかもしれないので、例えばチラシのQRコードをスマートフォンで読み込むと町会・自治会への加入手続きができるようになるとかであれば、加入率も少しは上昇するのではないか。

【事務局】

町会・自治会の加入世帯の内訳については、担当課に確認する。

【委員】

町会・自治会にもこまえくぼ 1234 フェスティバルへの参加を促すと良いのでは。フェスティバルに参加する町会・自治会が増えると加入する機会も増えるのでは。

【委員】

以前にあった地区運動会のような地域で様々な世代が交流する機会があると、町会・自治会に興味を持つ人がいるのでは。

【委員】

コロナでここ数年中止となってるが、町会・自治会では制度的には地区運動会のようなスポーツ大会を毎年実施するようになっているかと思う。町会・自治会には防災やスポーツ大会など色々な連携が求められているが、そのような中で施策として助成金の交付やチラシの配布だけで加入率を上げるというのは難しいのでは。

【委員】

町会・自治会加入者の町会費等の徴収や回覧板の回付などの負担を減らす取組は市として何か行っているのか。

【事務局】

町会・自治会はあくまでも自主団体なので、町会費等の徴収まで市が関与することは難しい。市としては町会・自治会の活動に対する助成金の交付等で町会・自治会へ支援は行っている。また、町会・自治会の事務処理等の効率化の推進のための講演会などは実施している。

【委員】

町会・自治会加入者が増えると市にはどのようなメリットがあるのか。

【事務局】

住民同士顔と顔の見える関係を築くことで、地域の共助力、防災防犯力等の向上につながると考えている。

【委員長】

町会・自治会間で他の町会・自治会がどんな活動をしているのか分かると良いのでは。

【事務局】

担当課に確認する。

【委員】

町会・自治会がどんな活動をしているのかが分かる一覧があると、町会・自治会の活性度を図る指標になるのでは。

【委員長】

町会・自治会間での情報共有の場があると良いのでは。

【副委員長】

町会・自治会の交流会などは市民活動支援センターで行っている。

4 その他

追加の質問がある場合は、質問票を7月28日（金）までに提出いただきたい。

次の開催日は、後日、日程調整を行い決定としたい。